

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情7第5号	受理年月日	令和7年1月23日
件名	現在の目黒区民センター再開発計画ではなく別の案の採用を求める陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>1 目黒区民センター、公園、目黒区美術館、下目黒小学校が一体開発の名の下に取り壊されて、新しい建物を造るという計画が進められています。この計画には資金が多額にかかり、計画は現在は一旦ストップしています。</p> <p>区は399億円をつぎ込み、さらに上乘せすることを検討していますが、この際、この計画を根本から見直して、別の案を考えて下さい。例えば区民センターは建物を修繕してそのまま使う、公園はトイレや通路を直す等の手入れをしてそのまま残す、美術館もそのまま使用する、小学校はそのまま今ある場所で修繕、補強、あるいは建て直すというように、専門の建築士さんたちの意見を取り入れればできることです。全てを壊して新たな建物を造る必要は全くありません。</p> <p>区の資金力には限界があります。手持ちの多くの資金を区民センター再開発につぎ込んで良いわけはありません。国や都からの助成金をあてにして多額の工事をするのは、財政的に危険です。今後予想される災害に備えるためのお金も必要でしょう。</p> <p>区議の皆さんは専門の建築家と一緒に現地を見に行つて、具体的にどのような修繕や補強をすれば建物をそのまま使えるのかを学んで下さい。</p> <p>2 区民センターと目黒区美術館は池田武邦（たけくに）が率いる日本設計という会社がチームで設計しました。区民センターの最高の高さが38.2メートルあり、8階建で建ぺい率60%であっても圧迫感を感じないのは、下に50メートルの屋外プールがあり、緑の公園、テニスコートがあるからです。</p> <p>美術館からの眺望もこうした公園の緑を取り入れています。</p> <p>この公園に敷地17%も使って、建物を建てて、そこに屋内プール、体育館、屋上テニスコート等を設けることは、こうした優れた環境下にある区民センターや美術館の価値を損なうことです。公園の広々とした空間も感じられなくなるでしょう。</p> <p>3 2024年11月にテレビで全国放送された区民センター再開発問題は大きな反響を呼びました。そこでPFIの手法を使っても区は5%しか得をしなと言われております。そうした報道に対して、区長、資産経営課の課長、多くの区議は何も反論さえしていません。区民や全国の人々に対して何らかの見解を示して下さい。とりわけ青木区長はリーダーシップを発揮して、区民に説明をして下さい。いつも区の役人に答えさせているだけでは、区長の説得力、指導力</p>			

に疑問を持たれてしまいます。

- 4 2024年5月にNHKテレビでの「NHKアカデミア 経済思想家 斎藤幸平」の番組の最後の「身近なコモンを破壊から守るには？」という質疑応答において、「私たちの目黒区美術館や区民センターを再開発から守るにはどうしたら良いか」というまさにこの問題が取り上げられて、全国的にXで話題になりました。今でもNHKの特設サイトでこの番組はオンライン視聴できます。疑問を持つ全国の人々に答えてください。
- 5 高さ制限を緩和して、高層の建物を建てるという方法を見直して下さい。目黒区の魅力は高層建築がたくさんあることではないでしょう。人々が住みやすい、国や都と違う目黒区独自の良い環境を守り続けましょう。

【陳情事項】

- 1 現在の区民センター再開発計画を考え直して、区民センター、美術館、公園を手直ししてそのまま使う案を採用して下さい。下目黒小学校は今ある場所で修繕補強するなり、建て直すなりして下さい。
- 2 公園に建物を建てるのは考え直して下さい。
- 3 2024年11月にテレビで全国放送された再開発への疑問に答えて下さい。
- 4 同じく5月にNHKで放送されて、今でも視聴できる番組で取り上げられている「美術館や区民センターを破壊から守る」ということを考えて下さい。
- 5 高さ制限の緩和ではなく、人々が住みやすい目黒区独自の良い環境を守りましょう。